

# 月刊 くちのえらぶ島の自然(創刊号)

発行:えらぶ年寄り組  
発行日:2013年5月22日  
5月号(創刊号)

## 活動の目的は?

「えらぶ年寄り組」は、向江浜に上陸するウミガメの頭数や産卵の回数、エラブオオコウモリやシカの頭数を計測しています。屋久島の団体と共同して、タカツランを調査して、森を守る活動も始めました。まずは、生き物の実態を知って、自然を守る参考にしようとするわけです。口永良部島の自然を守り、その自然を利用することで、口永良部島を活性化しようとするのが最終の目的です。

「えらぶ年寄り組」の活動を知ってもらいたいと、「月刊 くちのえらぶ島の自然(仮題)」を発行することにしました。

## ウミガメ情報

「えらぶ年寄り組」は、屋久島町から「ウミガメ保護・監視団体」として認められました。5月20日から2か月間、向江浜に上陸するウミガメの保護監視業務を引き受けました。業務委託費は2か月間で8万円です。人件費としては使わずに、観測記録のためのカメラや清掃用具、文房具などを購入しようと予定しています。

### ウミガメ上陸と産卵

月日		時間帯	観察者	観察の内容
5月22日	水	430~630	渡辺善一	上陸⑨(9頭目)、産卵④を目撃(4回目)
5月20日	月	820~840	山口英昌	上陸⑧、産卵確認できず。
5月19日	日	800~830	後藤利幸	上陸⑦、産卵③確認。
5月17日	金	530~630 800~900	発見:渡辺善一 移し替え:渡辺、後藤、山口	上陸⑥、波打ち際から5mに産んだので、波にさらわれないよう卵を移し替えた。計75個の産卵、うち破損4、産卵②、2回目
5月16日	木			15日上陸3頭のうち、一か所で産卵①確認、深さ10cmたらず
5月15日	水		渡辺善一	3頭上陸③、④、⑤
5月7日	火	730~815	後藤	2頭目上陸②、6か所の試掘、産卵なし
5月2日		1900~2100	ウミガメ勉強会	鹿児島大学、ウミガメ研究会、小林宏至さんが講師
4月29日			渡辺善一	上陸①、シーズン1頭目

## 「えらぶの自然」の勉強会を開催します

**5月26日(日)** 19:00~20:30 公民館で

「えらぶの自然—タカツランと口永良部島の森—(仮題)」

講師:辻田 有紀さん(東北大学植物園)

## コウモリ情報

5月の月上旬、十文字近くの桑の木で、エラブオオコウモリを観察できました。ちょうど桑の実が熟れており、食べごろだったようです。桑の木では、止まっているところが、ワシントンヤシほど高くないので、目の前でオオコウモリを観察できました。

金岳小中学校のワシントンヤシにもぎやかになってきました。頭数計測をしていますので手伝ってください。強力な投光器があるので、はっきりコウモリの姿を見ることができます。見るだけの参加もOK、どなたでも参加できます。

### エラブオオコウモリの頭数計測

月日	時間	観察した樹木	集合した最大頭数
5月23日	19:55-20:15	学校ワシントンヤシ	2
5月22日	19:55-20:15	学校ワシントンヤシ	3
5月22日	20:50	本村—十文字の中間、クワ	0
5月22日	20:55	大山さん畑の前、クワ	0
5月4日	20:00-20:15	学校ワシントンヤシ	10
5月4日	20:55-21:00	学校ワシントンヤシ	13
5月4日	20:23	本村—十文字の中間、クワ	2
5月4日	20:35	大山さん畑の前、クワ	2
3月19日	18:30-20:00	学校ワシントンヤシ	1

## 口永良部島で暮らす皆さんへ

### 「えらぶ年寄り組」とは、

私たちの口永良部島は、美しく豊かな自然のおかげで、イセエビや魚、タケノコなど海の幸、山の幸に恵まれ、また、多くの観光客が島に来てくれます。

一方で、これからの島の発展を考える、若い働き盛りの島民は、島に定住してくれる若者を増やそう、小学校にあがる子どもたちを増やそう、島を活性化しようと努力しています。島で暮らしても良いなと興味を持ってもらうためには、この豊かな自然を利用することが欠かせません。

そのためにも、皆でこの自然を守りませんか？

エラブオオコウモリやウミガメを、これ以上は減らしたくありません。増えすぎた鹿から、山や森の生き物、木々や草花、海そのものも守りたいですね。

### 皆さんへのお誘い

体と口の動く人は、誰でも参加できます。そして、地区の活動とはひと味違う活動をめざします。口永良部島の環境や生き物、歴史遺産をまもり、それらの子々孫々に伝えたいと願うとともに、日々の暮らしに忙しい働き盛りの人たちの役にも立ちたいと思います。ぜひ、ご参加ください。